

#	ご質問	回答
1	グローバル理工人育成コースに所属しないと留学はできないのでしょうか？	留学はグローバル理工人育成コースに所属しなくても可能です。
2	グローバル理工人育成コース所属してコース卒業できなかったら留年ですか？	グロ理を修了しなくても卒業はもちろん可能です。修了できない場合のペナルティはありません。
3	3年2Qに留学しやすいと聞いたのですが、その時期に留学するにはグローバル理工人育成コースに所属しておくべきなのでしょうか？それと他のプログラムが存在するのでしょうか	3年2Qのプログラムは海外大学のサマープログラム受講が主になります。グローバル理工人育成コースへの所属とは無関係に参加可能です。
4	一年最初に受けるTOEFLはどれくらいの点数を目指したほうが良いかということはありませんか。	最初の受験で目指す点数はありません。MITの留学にはTOEFLiBTで100点、交換留学への参加にもそれぞれ指定されたスコアを取得する必要がありますので、計画的に準備を進めてください。
5	「留学の目的」は奨学金をもらう際に必ず聞かれることですが、留学を経験してみたいというような軽い動機からはじめてどうしても作った理由しか出てきません。この先生のもとでしかできない・この大学でしかできないといった状況の人が奨学金をもらって留学するものなのでしょうか？	留学の動機にはいろいろなものがあると思いますが、それぞれの財団が奨学金を支給する目的を持っていますので、目的にふさわしい人物を選考するために聞くという側面はあります。
6	高校1年生です。情報工学を勉強したいと思っています。高校生で情報工学を勉強できる留学先は、ありますか？また、どのように留学先を探せばよいですか？	大学では高校生向けのプログラム把握できていませんが、いろいろな交流事業があるようですので、ぜひ探してみてください。情報工学に興味があれば、留学以外にも学生向けの国際的なハッカソンのプログラムなどもあると思います。
7	学部2年生からグローバル理工人育成コースに所属した場合でもコースを満了に修了することは可能でしょうか？	学士課程の2年生以上でグロ理に所属し、コース中級を修了された方も多数います。修士課程に進学される所属生は、履修したグロ理の要件単位を修士課程にも引き継ぎますので、たとえ学士課程で修了できなくても、修士課程での修了を目指すこともできます。
8	修士課程での1年程度の研究留学を考えています。大学のプログラムを活用した場合にも、希望の研究室に所属できますか？また、指導教員に推薦してもらった場合にも、そうしたプログラムを活用できますか？	修士課程での研究室所属は入試の際に決まります。修士課程で留学を希望する場合は、指導教員が決まってから早めに計画について相談することをお勧めします。大学のプログラムは指導教員の推薦を必要としますが、留学プログラムとしての選考は別個に行われます。
9	学士一年でグローバル理工人育成コースに所属する学生はどれくらいいるのでしょうか。	毎年300-400名が所属します。
10	英語以外のプログラムはどの程度充実しているのでしょうか？	英語以外の言語ということでしたら、TASTE海外短期語学学習というプログラムで中国語、ドイツ語、フランス語を学ぶ留学が可能です。また、語学以外のプログラムということでしたら、1週間程度の異文化体験や留学体験のプログラムから2、3週間の授業履修プログラム、2、3か月程度の研究留学や半年～1年の交換留学、1年以上のダブルディグリープログラムなど多種多様なプログラムが用意されています。
11	現在物質理工学院に所属する修士1年です。就職活動が終了した、2022年の6月頃から2,3ヶ月程度の留学をしたいと考えています。工学3学院交流プログラムの参加を視野に入れているのですが、これは研究留学と言うことでしょうか？また、その場合留学先で所属する研究室を探すサポートなどはしていただけますか？	工系3学院学生交流プログラムは研究留学プログラムです（授業履修を中心とした留学は不可）。派遣先大学によって、先方のコーディネーターが滞在する研究室のアレンジを行う大学もあれば、派遣学生の方ご自身で滞在する研究室を探す大学もあります。過去の先輩の体験談を参考にさせていただくとイメージがつかめるかもしれません。 http://www.eng3.e.titech.ac.jp/~inter/inter-j-report.html
12	東工大のm2の留学生です。その留学奨学金と留学の機会は留学生もできますか？	ご紹介した奨学金は、日本国籍を有する方、または日本への永住が許可されている方が対象となります。

#	ご質問	回答
13	工学3学院交流プログラムに特化した説明会などはありますか？	派遣学生による留学報告会とあわせて説明会を行っています。感染症の影響により次回の開催は決まっていますが、随時留学相談の対応が可能ですので、お気軽にご連絡ください。また、過去の先輩の体験談を参考にさせていただくとイメージがつかめるかもしれません。 http://www.eng3.e.titech.ac.jp/~inter/inter-j-report.htm
14	オンラインではなく現地へ赴く留学をしたいのですが、コロナが収束しない限りは東工大としてリアルでの留学が許可されることは厳しいのでしょうか？	現在東工大からの留学については、大学のコロナ対応方針「10.教職員・学生等の国外出張と私事渡航に関する方針」に従って認めています。基本的には外務省・文科省の指針に沿って対応しています。特に、現在は入出国自体が大幅に絞られていることもあり、緊急事態宣言下でもあることから、認めておりませんが、状況が改善したら徐々に条件付きながら許可が出ると思って下さい。
15	(東工大OG 田中さんへのご質問) 一時帰国時に公務員試験を受験されたとのことですが、留学と公務員試験の勉強はどのように両立されたのでしょうか。私も長期留学予定がありながら、最近公務員の仕事に興味湧き、計画に悩んでいます。	東京都I類Aを受験しましたが、社会工学専攻であった一方で「土木職」としての受験でしたので留学前にM1の前期(渡航前)で学部3年生の土木の授業を(サークルの後輩に助けをもらいながら)受講し、留学先でも東大から来ていた土木学科の日本人学生に教えてもらいながら(留学先の課題と並行して)勉強しておりました。結局土木の専門分野はほぼ解けませんでした。一般教養(勉強したというより大学受験の知識の延長)が解けた分でぎりぎり合格できました。長期留学のご予定があるということで、そちらは優先されつつ、今から少しずつ勉強は進めておく、ことができれば良いかな、と思います。
16	東工大の交換留学プログラムを利用しないでの留学をしている方がいらっしゃいますが、それには大学としては関与しないということでしょうか？	東工大のプログラムを使用しない場合でも、「留学」の手続きを経て渡航した場合には留学として認められます。この場合、「留学」の手続きは渡航先での活動の内容が大学の学びとして適切であるかどうかを大学で判断し、適切と判断すれば「留学」として認めます。これ以外の海外での自己研鑽は大学としては留学と見なしますが、否定するものではありません。なお、いずれの場合でも、学外で実施されるプログラムの内容に関与することはありません。
17	英語以外の語学プログラム、僕の場合はイタリア語関連のプログラムに参加したいのですがどの程度充実しているのでしょうか	イタリア語の授業は第2外国語としてあります。イタリアの大学への留学プログラムもあり、イタリア語を知っていると有利です。ただ、語学学習を目的とした留学プログラムは、現時点では英語、中国語、ドイツ語、フランス語はありますが、残念ながらイタリア語はありません。
18	留学にかかった費用についておしえて頂ければありがたいです。給付型の奨学金は使われましたでしょうか？学費だけでなく、渡航費・生活費・食費等を含み、総括での費用はおいくらくらいになりましたでしょうか。	(FLAPのメンバーより回答) 台湾交通大学のダブルディグリープログラムに参加しておりました。私の場合は月10万円ほどの給付型の奨学金をいただいております。それに加えて現地の研究室からもRAをいただいておりますので生活に困るといことはなかったです。留学費用の総額について具体的な金額は忘れてしまいましたが、日本で生活するよりは格段に安く済みました。そのあたりは自分の参加するプログラムや国によってかなり変動すると思われます。アジアとヨーロッパに留学した学生の実際の費用を『留学のてびき』p32に掲載しておりますので、参考にしてみてください。 https://www.titech.ac.jp/international-student-exchange/pdf/guide2020.pdf
19	学士2年の第二外国語初級や中級は、例えばその外国語のcertificationでC1をもっていれば免除されるなどの処置はあるのでしょうか？また、選択必修の第二外国語のかわりに外大との単位をとることは可能でしょうか	現在のところ、外国語のcertificationを取得していても、単位認定はされません。選択必修の第二外国語科目は、単位互換制度の対象になっていないため、外大(東京外国語大学)の授業を履修して単位を修得することはできません。 https://www.tokyo-4univ.jp/fukugo/ 第二外国語の授業は日本語で行われますが、今まで多くの留学生が履修している実績がありますので、どのクラスでも必要に応じて配慮はなされ、留学生でも安心して受講できるかと存じます。
20	欧米の国に留学するために、TOEFLiBTはどのぐらい必要ですか？	ビザの取得要件で、ミニマム80、大学によって差はありますが、100-120を求める大学もあります。

#	開催前に登録フォームに記載いただいたご質問	回答
21	留学は学士課程でも可能かどうか	もちろん大丈夫です。3年第2Qは必修の授業が無いので、留学しやすいです。プログラムによっては、修士以上が対象のものもあります。
22	留学に際して休学した場合どのようなデメリットがあるか	「休学」は修業年限に含まれませんので、卒業が遅くなることはありますが、一概にデメリットだけではないと思います。留学して得られることの方が大きいことでもありますので、恐れず挑戦してください。本学のプログラムを利用する留学の場合は、原則「休学」という身分では参加できませんのでご注意ください。
23	大学外の奨学金など、留学の情報を得るには？	東工大HP>留学奨学金をご参考ください https://www.titech.ac.jp/international-student-exchange/students/abroad/scholarships
24	長期留学をする前の短期留学に行く場合、同じ大学に下見に行くべきか、それとも行ってみたい他の大学に行くのもありなのか。	長期留学に行く前に短期の留学で慣れておくのはとてもいいことだと思います。下見といっても、必ずしも同じ大学に行く必要はありません。短期留学で経験することは、どの国でも通用することも多いです。ぜひ最初の一步を踏み出してください。
25	短期留学では奨学金などはあるのでしょうか？	本学で募集する短期留学プログラムは、ほとんどが返済不要の奨学金とセットになっています。各プログラムの募集要項をご確認ください。
26	留学にはどんな種類（どのくらいの期間から参加できるのか）があってそれぞれどんなメリットとデメリットがあるのかと研究留学するためにはどのくらいGPAがいるのか	留学とひとくちにいても、引率付きで10日程度留学するプログラムから、数年をかけて学位を取得するものまで、さまざまなものがあります。メリットデメリットというよりも、ご自身が何をしたいのか、いつ行きたいのか、どのくらいの期間行けるのか、費用はどれくらいかけられるのか、という条件を考えて留学を考えるのがいいでしょう。また、それぞれの留学によって求められる成績や語学力は異なりますので、興味のあるプログラムを見つけたら募集要項を読んでみましょう。
27	大学院過程で半年以上留学に行ける制度について知りたいです。（準備期間や奨学金）	派遣交換留学プログラムですと、1セメスター（半年）からの留学となります。留学を検討し始めてから、特に奨学金受給の予定を考えるとおよそ1年前から準備される方が安心です。東工大の留学プログラムについてまとまっていますので、こちらをご参考ください。 https://www.titech.ac.jp/international-student-exchange/students/abroad/introduction
28	半年間の早期卒業を検討している学士4年の東工大生です。その半年間を利用して、海外の大学で研究活動に参加したいと考えています。そのようなプログラムは存在するのでしょうか？またその場合は休学することになるのでしょうか？	早期卒業後の大学院進学（工系3学院）が決まっていれば、工系3学院の留学プログラム（一部例外あり）に応募できます。ただし、留学中は東工大に在籍しており留学身分で渡航することが条件なので、ご注意ください。（休学中の参加を想定したものではありません。） 全学の派遣交換留学プログラムに応募した上で工系3学院の奨学生として研究留学することも可能です。また、東工大以外のプログラムもありますので、情報収集してみてください。
29	海外の研究室への留学を考えている。特にドイツ	工系3学院学生交流プログラムは主に夏季2～3か月の研究留学プログラムです（一部秋季、冬季もあり）。欧州に複数の協定校があり、ドイツのアーヘン工科大学も対象校の1つです。その他全学の派遣交換留学で留学する方も支援の対象となる場合があります。
30	MIT留学の詳しい内容について知りたい	Tokyo Tech-MIT Exchange ProgramはB4の8月～12月に留学するプログラムです。MITの指定科目のほか学部授業の広範な科目から選択でき、計36単位以上を履修します。対象となる学院、系は工学院：機械系・電気電子系、物質理工学院：材料系・応用化学系、環境・社会理工学院：融合理工学系です。なお、B4での参加が条件のため、早期卒業の希望者は応募できません。より詳細なご相談、お問い合わせは下記までお気軽にご連絡ください。対面、Zoomでの留学相談も対応可能です。 国際交流支援チームMITプログラム担当：mitp.admin@jim.titech.ac.jp 参考HP： http://www.eng3.e.titech.ac.jp/~inter/inter-j-exchange-MIT.html#setsumeikai 体験談： http://www.eng3.e.titech.ac.jp/~inter/inter-j-report.html

#	開催前に登録フォームに記載いただいたご質問	回答
31	英語やその他の言語学習方法について、体験談が聞きたいです。	語学学習の体験談は集めていないのですが、語学学習の方法については外国語学修相談室がいろいろなノウハウを持っていますので相談してみたいかがでしょうか。 外国語学修相談室： https://www.fl.ila.titech.ac.jp/advisory.html?_gl=1*1s0gxi*_ga*MjM4MTc3MTYyLjE2MjE5MTA1MTE.*_ga_VKBJ61GEPE*MTYyMzA0OTYxOC4zMjE2MjMwNTAxOTAuMA.. また、FLAPやACTIONのメンバーなど留学経験者に直接聞いてみるのも良いと思います。
32	留学するのであればグローバル理工人育成コースに所属しなければならないのですか？	コースへの所属は、留学のために必須ではありません。ただ、コースに所属することによってメールニュースなどで留学や語学学習に役立つ様々な情報が得られたり、グローバルに活躍する能力を育成する授業を優先的に受けることができるので、留学へのよい準備になると思います。
33	①留学先のカリキュラム（英語のみなのか専門科目を学ぶのか）及びクラス内の外国人比率（他アジアからの留学生だけなのか、正規学部生と混合なのか）②留学形態（寮 or Homestay)③留学先でのサポート（医療+問題が起こった時）	①留学先で何を学ぶのかは、さまざまです。語学を集中的に学ぶ語学研修、専門の授業を受ける留学、研究室に所属して研究をする留学もあります。夏休みなどの長期休暇に語学研修に参加する場合、クラス内の日本人比率が高くなる傾向にあります。ただ、世界トップレベルの大学には様々な国から多くの留学生が来ていますので、どの大学に行っても多様性を感じると思います。 ②留学先での滞在先はプログラムによって学生寮、ホームステイ、ホテル等様々です。派遣交換留学ですと優先的に寮に入れるなどのメリットがあります。 ③本学の留学プログラムに参加する場合は本学指定の海外旅行保険に加入していただきます。この保険には24時間体制の危機管理サービスがついており、世界のどこからでも日本語で相談できます。
34	協定校のオンラインコースに出席した際の単位取得	協定校が開催するオンライン講座を受講するとグローバル理工人国内研修等の単位をし取得できることがあります。対象のコースは決まっていますので、グローバル人材育成推進支援室（メール：ghrd.info@jim.titech.ac.jp）にお問い合わせください。
35	今回のイベントのアーカイブを頂くことは可能でしょうか。	直接問い合わせ先に連絡をお願いします。 https://www.titech.ac.jp/international-student-exchange/students/abroad/events
36	現在の留学状況について	コロナ禍の現在（2021年5月時点）、海外への渡航を認めていないため、すぐに留学したい場合は、オンライン留学プログラムに参加していただくこととなります。近いうちにきっと海外渡航が可能になる日が来ます！
37	留学は不安なことが多く、自信が持てず、でも海外に行ってみたいと思います。おすすめの方法や場所、自信がつくまでの勉強過程などが知りたいです。	どんな人も実際に行ってみるまでは同じ気持ちだと思います。現地言葉が通じずに恥ずかしい思いをしたり、文化の違いにとまどうこともあるでしょう。それでも、どの学生さんも行って経験できてよかった、と言って帰ってきます。自信がついたから行くのではなく、行って経験値が上がるから自信がつくのです。本学ウェブサイトの留学へのとびら（リンク： https://www.titech.ac.jp/international-student-exchange/students/abroad/introduction ）には出発前に必要な準備について書いてありますので、情報収集や語学学習に役立ててください。
38	1年以上の長期留学をされる方はいらっしゃいますでしょうか。	派遣交換留学は最長1年間ですが、学士課程・修士課程それぞれで参加する学生もいます。また、東工大に通いながら海外の大学の学位も取得できるダブルディグリープログラムの留学期間は1年以上になります。さらに、東工大卒業後、海外の大学に入学して学位を取得する学位留学を行う学生もいます。
39	大学院での留学をされる方は多いですか？メリットはありますか	派遣交換留学のような長期留学は修士課程で留学する方が多いですが、短期プログラムであれば学士・修士問わず多くの学生に参加いただいています。
40	留学をするにあたって準備をすること、またその準備期間	まずは本学ウェブサイトの留学ガイド（リンク： https://www.titech.ac.jp/international-student-exchange/students/abroad ）で情報収集し、語学力を磨くことを心がけてください。派遣交換留学は出発の1年前くらいが応募の締め切りとなりますが、超短期のプログラムなどは、準備期間はほとんど必要ありません。思い切って、まずは参加してみましよう。